

## 土木と市民社会をつなぐ事業研究会報告（その1）

CNCP 通信 Vol66 で本研究会の発足のご報告致しましたが、本研究会も早いもので発足から1年が経過しようとしております。発足当初の第1回～第3回研究会では主としてソーシャルビジネス（SB）や企業のCSV事業やCNCPが過去実施してきたアワード事業の学習をして参りました。

そして、第4回研究会では「土木の視点での取り組むべき社会的課題」をテーマにワールドカフェ方式によるブレインストーミングを行いました。当日は90分程度の限られた時間にも関わらず下記の一覧に示す86枚ものポストイットに様々な切り口で社会的課題が出されました。

大分類	キーワード	要約	指摘数
建設界の課題	業界の人気度	建設界の魅力度が低く、若者や高度人材の建設離れの課題	8
	労働者不足	人口減少や高齢化とも連動する、労働者不足への課題	6
	労働環境	働き方改革が言われる中で、残業、長時間労働などの課題	6
	業界構造	業者数が多く、会社間協力、下請け等への構造的な課題	4
	建設界の体質	企業や個人の独創性に欠け、業界全体の同質性、業界内で完結	4
	事業の執行体制	官主導の執行体制のもとで、市民社会との接点がない	8
社会的な課題	インフラメンテ	注目されるインフラメンテへの業界対応、事業の仕組みへの課題	7
	災害対応への貢献	災害時には社会から注目されるが、復旧工事で終わる	4
	新事業への貢献	地球環境、エネルギー問題、廃棄物への対応の課題	8
	中央と地方の格差問題	事業の過度な東京一極集中で地方の更なる空洞化を生じている	5
	土木という物語	国や地域の将来ビジョン等の「物語」が語られていない	7
建設界と社会の相互の課題	土木への誤解・不信	建設界には誤解による、悪いイメージが付きまとっている	5
	市民との接点	事業への市民社会からのアプローチという視点も実行も欠ける	7
	広報発信力	近接企業から市民社会への広報や宣伝をする機会も力量もない	7
計			86

本研究会は運動論としてゼネコンが取り組むべき社会的課題解決をCSVの視点で探るものであり、第5回において今後の研究会はブレインストーミングの結果を受けて「インフラメンテ」、「災害対応」、「地球環境・エネルギー問題・廃棄物対応」、「中央と地方との格差対応」、「国や地域の将来ビジョン」を社会的課題として一つずつ取り上げてこれらの課題をCSVの視点で探って行

く方向が明確に示されました。そして、第6回研究会は「インフラメンテ」の課題解決をCSVの視点で探る検討を行いました。討議の「主な論点」は単なる従来の建設界の延長線（常識解）だけでは終わらせないよう、「研究会としての新機軸」を打ち出せるよう留意しております。今後の本研究会の活動にご注目下さい。

注釈：共通価値の創造（CSV）とは社会的課題を工夫のある事業で解決を図ると共に合わせて企業価値の向上を図る事業を称します。